

平成 21 年度問題と正解・解説

20. 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」における基本理念として適切でないものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 公共工事の品質は、民間事業者の積極的な技術提案及び創意工夫を活用しないで確保されるようにしなければならない。
- b. 公共工事の品質確保に当たっては、調査及び設計の品質が公共工事の品質確保を図る上で重要な役割を果たすものであることに鑑み、調査及び設計の品質が確保されるようにしなければならない。
- c. 公共工事の品質確保に当たっては、工事の効率性、安全性、環境への影響などが重要な意義を有することに鑑み、より適切な技術又は工夫により確保されなければならない。
- d. 公共工事の品質は、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない。

【正解は a】

民間の技術提案・創意工夫を活用します。

21. 「公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針」における、品質確保の促進の意義として掲げられていないものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 価格に加えて技術提案の優劣等を総合的に評価することにより、必要な技術能力を持たない建設業者が受注者となることにより生じる施工不良や工事の安全性低下、一括下請負などの不正行為が未然に防止される。
- b. ペーパーカンパニー等の不良・不適格業者が排除され、技術と経営に優れた企業が伸びることのできる環境が整備される。
- c. 民間企業の高度な技術提案が活用されることで、一定のコストに対して得られる品質が向上し、公共事業の効率的な執行につながる。
- d. 価格に特化した競争が行なわれることで、談合が行われにくい環境が整備される。

【正解は d】

価格と技術力を合わせて評価します。

22. 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」における品質を確保するための発注手続きとして誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 競争参加者の技術的能力（配置予定技術者の経験等）の審査。
- b. 提案内容によっては公共工事を確実に実施できないと認めるときは、提案を不採用とすることが可能。
- c. 技術提案の改善は、同様の提案した者が複数ある場合においても、より優れた技術提案となる場合には特定の者だけに改善を求めることが可能。
- d. 高度な技術等を含む技術提案を求めたときは、技術提案の審査後に予定価格を定めることが可能。

【正解は c】

特定の者だけに求めることはできません。

23. 「公共工事の品質確保の促進のための施策に関する基本的な方針」における調査・設計の品質確保に関する事項として、誤っているものを a~d の中から選びなさい。

- a. 調査・設計の契約にあたっては、競争参加者の技術的能力を審査し、品質を確保する。
- b. 調査・設計の内容に照らして技術的な工夫の余地が小さい場合にあっても、必ず、競争参加者に対して技術提案を求め、価格と品質が総合的に優れた内容の契約を行う。
- c. 業務を実施する者の能力に影響される特性を有していることから、技術者の経験や成績評価結果を適切に審査・評価することが必要。
- d. 技術提案が提案者の知的財産であることにかんがみ、提案内容に関する事項が他社に知られることがないようにする。

【正解は b】

技術的な工夫の余地が小さい場合を除き技術提案を求めます。